

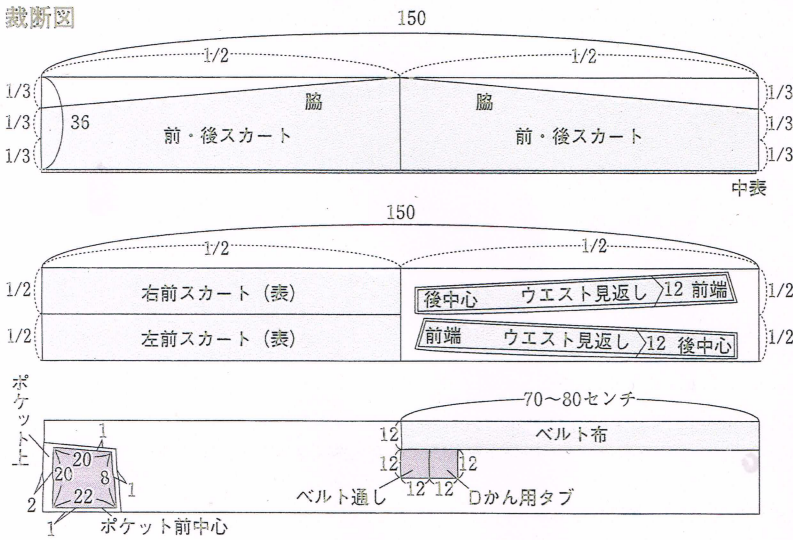
# 浴衣をリメイク

文化服装学院講師 奥尾三紗子

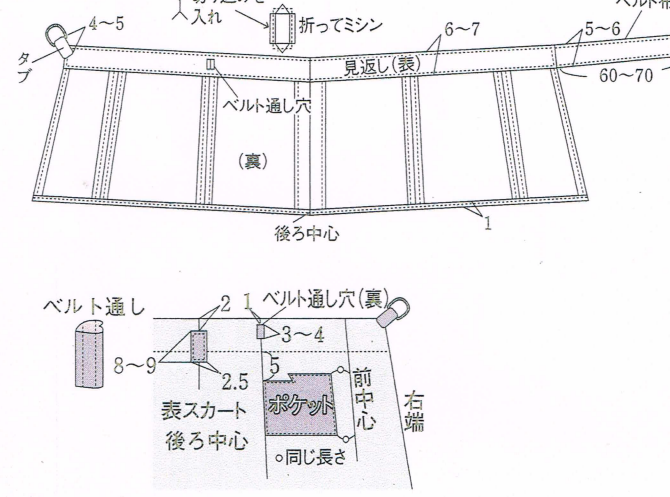
# ラップスカート



着なくなった浴衣をラップスカート(巻きスカート)にリメイクしてみませんか? 白地に紺の花や魚が並ぶ夏らしい柄。すっきりしたラインがきれいです。ふくよかな方は腰骨のところに合わせてはいてください。ポケットがふくらんでいるので目線がずれて、おなか気になる人も目立ちません。製作は文化服装学院講師の奥尾三紗子さんです。



### 縫い方図



浴衣は日本の夏の定番アイテムですが、お祭りや花火大会などのほかは着る機会が少ないもの。一枚の布を切って縫ってあるので、ほつけないようなものがつくれます。

### 材料

浴衣地、サイズ調整のDカン金具3号×1組、ミシン糸、縫い代はすべて2cm、込み(ポケットと見返し布の縫い代は図を参照)。

### 作り方

- ①浴衣地をほたいてアイロンをかける。裁断図の赤い線に線を引いて、布を裁く。
- ②スカートの後ろ中心と脇、前中心をそれぞれ縫う。縫い代は割って、0.5cm折って端ミシンをかける。
- ③前縁と裾を1cmの三つ折りにしてステッチをかける。
- ④見返し布は後ろ中心でほたいて割る。スカートのウエスト部分と見返し布を中表に合わせて、端から1cmの縫い代で縫う。少しカーブしてほたいて、切込みを2cmのところにいれ、アイロンを整理、ステッチをかける。
- ⑤ベルト布は縫い代を内側に折り曲げ、ステッチをかける。左前のスカートの見返しにはさんで図の赤い線にベルト布を止めつける。
- ⑥右前縁の上部にDカンを通す。

⑦ポケット口は1cmの三つ折りにしてステッチをかける。所定の位置に縫い付ける。

⑧図のようにウエストのベルト通し部分に3〜4cmの空きをつくる。見返し裏の位置に切り込みを入れ、周りを縫う。

⑨後ろ中心の表側にベルト通しをつける。

※ポケットの色、柄を変えたり、カフレストッキングを合わせるなど、おしやれを楽しんでください。

(モデルは同学院オーブンカレッジの学生さんです。)